



参考値出典：日本病院会 2016年度 QI プロジェクト結果報告 No.10 救急車・ホットライン応需率
一般病床 346 施設平均値

■ 救急要請数の増加傾向に応える救急受け入れ体制づくり

救急応需率は救急隊からの患者受け入れ要請に応えた（応需）比率を示し、搬送件数は実際に当院へ搬送された患者数を示しております。2016年度は2015年度と比べ応需率、搬送件数ともわずかに減少致しましたが、救急隊からの受け入れ要請件数は2015年度と2016年度を比較すると約7.4%増加する中で受け入れに応えた件数も増加しております。

救急患者の受け入れにあたっては、要請時の受け入れ態勢の他に治療後の全身管理の必要や社会的入院の受け入れに対する是非等の多くの検討と意思決定が必要となるため、経年の傾向を見つつ対処して参ります。



救急隊と連携する事は迅速な救急患者の受け入れを行う事で大きな意味を持ちます。当院では年1回杉並区、練馬区の救急隊を中心に症例検討会を開催し病院、救急隊相互の信頼関係の構築に努めています。2016年度には荻窪消防隊の主催する救急車同乗訓練に当院の看護師が参加致しました。